

199, BASTOS, 14 de Maio de 1973. O PROGRESSISTA, REG. Nº 2695 SAO PAULO, A.P.

# バストス週報

第1260号  
昭和四十八年  
五月十四日発行  
Director  
Koiti Mori  
Redator  
Shion Oda  
Rua Pres.  
Vargas, 168  
C. Post. 112  
Fone, 40  
BASTOS  
C. P.  
Annual  
Cr. #  
30.00  
Adiant.

水紋 20

## バストスは鼻が高い

### ブラ拓の谷口さんの受章を祝う

○ブラ拓製糸株式会社の専務谷口章氏の受章の記事は前週の記事と比べると、実は故畑中仙次郎氏に次いで信太氏、御本人の喜びは、さること乍ら、これは大袈裟にいつて、わがバストスの誇りさあろう。

○バストスに製糸工場があるだけでも、バストス人にとっては、心の支えになっ、という位だが、その会社の工場であり、専務である谷口さんが、春の叙勲（四月は日本の春）で勲五等瑞宝章を授けられたことは、吾々バストスに腰を据え、いる者にとっては、わがことのように心の琴線に触れる感激である。

○勲章を授けられる人なら、それ相当の毎度ありがとうございます。

日本料理・フレンチ料理  
御宿泊と御食事に  
御宴会と御食事に、御家族  
づれの御食事に、御贈礼と、  
御披露宴の御支に、  
毎木曜日は名物フエジョアード  
バストス名産料理ノ

# BAR PRIMAVERA HOTEL E RESTAURANTE



ホテル  
フイマヴェラ  
食卓  
ブラウアルガス街ニ七一

## 森川悠一

電話九十二番

功績があるにうがいなく、毎年おびただしい人数が発表されるが、政治家、学者、高工業、農業者、芸能界と、広い範囲にわたって推薦されているが、一々どういう功績があったかは判らない。しかし、谷口さんの場合なら、吾々の手迫かの人だから、すぐにピンとくる。

○第二次大戦の末期価値が出て、蚕糸業は好況を迎え、両後の筈の如く、製糸工場を建設をする人が多かった。ところが、ところが、忽ち大小製糸工場をふきとってしまった。繭を売った商社から金が貰えず、泣き寝入りになった養蚕家がいかにも多いことか。そのためにバストスにも危うれず、他に転耕した農家もずいぶん多かったのである。

○どうも、資金難の時でも谷口さんは、あらゆる方法を講じて、ブラ拓関係の養蚕家の面倒を見てやり、多少長引いたが、最後の端銭まで清算してやった。財界の混乱に使乗して多額の支拂金を破産申請によって、もみくしゃにした商社もあるとのことだったが、谷口さんの採った人情味豊かな解決は、当時のことを知っている人なら、思いなかに過ぎるであろう。

○大戦後も蚕糸業は一進一退の横這状態をつづけ、一たん中断した養蚕家はなかなか元へ還らず、主として養鶏に転業したようである。

○養蚕家はパウリスタ蚕糸業組合を結成し、一部の政治力を利用して関税障壁を作って日本生糸のブラジル侵入を防ごうと辛うじて、価値の下落を喰いとめた。もあつたほどである。

○これだけでは、まだ谷口さん授章の対象とはならぬだろうが、将来必ず真の生糸時代がくる……ということを知りたのは何と……これも学問の力である、天絹と人絹とは、根本から組織性質に於て全く違う。いかに人智を尽しても、人絹は要するに化学製品で、天絹のもつ自然の感触は得られない。ものどころだが、世界の経済が豊かになれば、必ず天絹の需要は増すと見たのが、ブラ拓の主眼である。このことはブラ拓天野社長が、自国産の生糸を自国で消費して足りず、ブラジル生糸の買付国になろうとは、諺言ではあるが「お釈迦さまでも

「存じあるめい」という程度の変り方である。

一方ブラジルの農業事情も次第に変化して来ている。無肥料農業を誇ったブラジルの耕地も、次第に地力を失い、聖州内各線にも、養蚕を取り入れる思が増加し、期せずしてブラジルの養蚕王国となりつつあるが、聖州から巴州、麻州へ広がったばかりでなく、パラガイでも日系農家が取り入れつつあるという。

○ 自然の趨勢というところもあるだろう。これを商品の原料としての立場からと、決してほっておけるものではなく、未経験な地方には、技術者を派遣し指導しなければならず、近年に於けるブラ製系の緊張というものは、すごいくらいである。

○ 菌の増産もすさまじい。これを生糸にするまでには、これまでの設備を倍増しなければならず、目下増築増設備の真最中である。

こう書いてしまつと、ブラ拓が有稀にハッて、金儲けに狂奔しているように見えるが、ブラ拓の今日まで歩いて来た道と点検すると、企業的野心などというものは、くすりほどもなく、主としてバス、トス産業を支える一部門という建前らしく、養鶏全盛好況時代には、大争な産業部門にもかかわらず、ひっそりとした観があった。これ迄派手に養蚕宣伝をする

こともなく、あくまで健全一方の経営及び指導振りであった。養鶏の方は、好況ん程身分の学問を生かし、それが自分のとみると、やたら手を広げ、銀行も融資するといった風潮だったが、谷口さんの方針は、農家にも企業的経営をいまして、着実な養蚕法を指導して来た。それがあつた。バストス内では万金を積んだ養蚕家はあつても、それを顔に出さないうる風がのこつてゐる。

○ しかし、今や時代が一変した。バストスだけの養蚕ではなくなつたのである。地方のある地方で、どしどし乗を植へ、養蚕に転業する人が増加して来たことは、これまで棉花や養鶏に比して見逃がされてきた養蚕が産業として赫々たる将来を約束されていることが、ブラタク製系、堅実な経営振りによつて認識し、健全な農産業への指針として示されたからである。

○ 二十年谷口さんの頭は頓に白くなつた。年のせいでは白くなつたのではない。直營となり、約十前株式会社となり、生糸をブラジルの農産の第一線に押し、そうとう必死の努力があつたためである。生糸がブラジルの国産としてマール谷口さんは「わが回想録」に記すことである。移民としてへ今は帰化しているが

# ESCRITORIO KOBAYASHI

## 営業案内

法律（民法・刑法・労働法）  
シンジケート顧問弁護士  
会計事務  
デスバシアンテ  
保険（生命保険・自動車保険・農業保険・その他）  
外国人登録の種々  
帰化手続き、身分証明  
諸申告手続き一切

## 小林事務所

主任 Dr. 石川雅宏

C.P. 一三〇  
FONE 一〇五  
一八〇

ブラジルに貢献する程の業績をのこす程はなまやさしいことではない。谷口さんの程身分の学問を生かし、それが自分のためではなく、ひろく日系移民の収入につながり、遂にブラジル農産物として眼目される道と結びつけた事は、何となく大きな夢の実現であつた。

○ 谷口さんは、一九〇二年生れといふから、今年七十一歳ということか。前述の白いのは齡のせいではないといつたが、七十歳なら、あの位仕方ないだろう。筆者のようにほんくら頭は八十になつても、一見黒く見える。

○ 一九二七年渡伯、じばらくパ線を経て、一九二三年にブラ製系に入社。故上田平吉氏主任時代であつた。ブラ製系は一時期養蚕組合の組織となつた。約十前株式会社となり、

一九六八年山本喜喜司賞、六九年兵庫県知事銀盃受賞。その前に移民五十年に際して、山外務大臣木孟、ブラジル地理学協会からマガリヤンエス、コトト章を授けら

# Artefatos de Arame Paulista

## ガイオーラデ

## アラメ製作所

迅速 丁寧

益々好評の福瀧のガイオーラノ、御注文に応じて御指定通り色色と製作いたします。製品は出来得る限り入念に仕事を致しております故、多少に拘らず御用命を御願いたします。

アントニオ・ジョン街一二十五番地

シマカラ 小林さんの向い

### レナツト福瀧

電話 自宅 三六九

CP 四十一

谷口さんは公職にも何回か就かれた。さうよつと記憶にずれがあるかも知れないので、十年前としておくが、バストス日文化協会が旧自治会組織を引継いだ時、第一回の会長となり、二期四年就任、石田会長・前山会長を中にはさんで、再一九六九年会長二期四年をつとめ、ヒ一年崎田春一氏会長当選迄、前後八年の長きにわたつて会長をつとめ上げた。○谷口さんの資性というのは文字通り温健で、一切拙裁専行を為さず、相手の見をよくきく、大ざつぱはのような印象もあるが、微細な点に鋭い眼が届く。寡黙のように見えるが、一端発言すると雄弁以上の力を発揮する、といった実力者である。従業員一千人の一人々々の技能、勤能力を把握し、しかも人使いがやさしい。心服されている所である。○谷口さんは、十年位前迄は酒もビールものまなかつた。どうした聖物に酒の指導したのは、かく云う筆者である。時、カザメントの宴などにお供して隣にゐるとき、一会社の長ともある人が、宴席で酒がのめぬなどというのは、エチノットにぞむくものです。ひとに、一つどうですとさされて、私はただだけません、などという専務がありますか、……、いって、それこそコップの持ち方から

酌の作法から、手をとつて指導したのである。その指導よろしきを得て、では修業をつみ、ビール一本はかろく運けるようになった。但し自動車を自ら運転して帰られるので、万一を慮り、それ以上はすすめないことにしている。谷口さんも、よい先生をもつたものと、思っているにちがいない。これは全く余談だが、谷口さんの人格の反面を御紹介した次第だ。

○谷口さんは功成り、名をどけた大人格者と云つて受章お祝いの結びとする。訂正 四月二十九日付週報で、バストス受章したのは故畑中氏に次ぎ谷口氏が二度目であると記述したのはあやまりで、一九七一年四月二十九日付きで、信太兵治が勲五等瑞宝章を受けている。これは全く記憶ちがいだ。おわび申上げる。

## 欠けた三羽鳥

カッエランジャ 福瀧 温

去る四月十八日、私の旧友竹神理助君が死去したのを知った。

バストスで此の名前を覚えていて下さる人は、殆どないかも知れぬが、私の同級生で志を同じくし、県海外移住組合の手で単独移住移民として、私の亡弟と三人で真直にバストスに入植したのである。折柄日本は、大学を出ても録な就職も出ない不況の最中で、勉強を続けても無駄のように思えていた。祖へ、満州に移民して再移住する準備を進めていた。で、それに刺戟された訳でもないか、この際思い切つて学業を放棄して一緒にブラジルへ移住する気になつたのであった。一見頑健な身体をして居り、打つても突いても少々の事ではビクともしない様な体をして居たのに、案外早く還暦を迎えた許りの奥で死んで了つた。そして私の弟も夙々に死んで了つており、一番弱いと思われた私が、何時迄生き延びるか、かわ知れないが、一番生きをやる事になった。

一九三二年の三月下旬、サントスへ上陸した所へ、これもカスカッタ区に入植して居られた向井さんが迎えに来て下さり、何彼と世話を下さつた。ブラ拓からは末松緑氏が迎えに来て居られた。車を後で知ったが、港でも汽車の中でもお顔さえ見なかつた。汽車の中では舟当替りにモルタデーラを挟んだサンドウイツチを貰つたが、ソコカバナ方面に同行





病的に綺麗好きの夫のために、廊下の拭き掃除ばかりしていた。ここにこと笑顔と絶やさず、色白で、しかしかっしりしお洒落ではなかったが、夫がやかましいので、いつも身綺麗いにしていた。今も髪の毛が少しも乱れていない。白髪には美しい艶があり、その上に細い網がかぶてあるらしい。信利は今にも母親が、眼を睨み、瞬きながら起き上って「おやまあ、どうしたの？」とでも言い出すような気がしていた。

「何をしるのよ、あなたたち！」  
いさなり頭から昭子の甲走った声が降ってきた。敏が、にやりと笑って父親を覗く。が、信利は訊き返した。  
「どうすることないじゃないか。医者はお目だと言ったんだらう？　こうやって息を吹き返すのも待つより仕方がないだらう。」  
「四時間も前に息が切れたって先生は仰ったのよ。葬儀屋に今電話をしたら、今日は土曜日で、明日は日曜だから、明日の朝にして下さいという言うじゃない？　頭にきたわ。人の死ぬのに土曜とか日曜がありますか？　言ってやったら、つちは葬儀屋ですが、こっちは生きこいよすんでねえうて」  
「そいつはひどいな」  
「でしよう？　あたし、すぐ電話切、ちやったわ。それからお医者へ電話して、御意な葬儀屋さんを教えて下さいって言ったら、先生の奥さんだっただけだよ。いさなりピステリー声で、うには懇意な葬儀屋なんてごいません、ガチン！」  
「こっちの名前を言わなかつたんだろよ」  
「あッ、そうだわ。敏、あなた行つてきてよ。笹山医院よ。いまさつきいらして頂い立花ですけど、こっちはうん」  
「不馴れですのて困ってますが、こっちはうん」  
「分ったよ」  
「聞いたらすぐ帰ってきてよ」  
「こんなときにごへ寄道するのだと思つたが、信利は口に出さなかつた。不馴れだというのには、まったくその通りだ。人が死ぬのは珍らしいことではないのに、人の死ぬところに出会して、それから式までの一切を切り盛りした経験は信利にもないのだ。シベリアの抑が起すに、戦友がぼろぼろと死んで行つた。それが、二人がかりで担ぎ出して、それきりだつた。二十余年前の、もう殆んど思い出すこともなかつた光景を信利は思ひ出した。あのときも死というは無感動なものであつたが、血の通つた親と子の場合でも、やはり死は物の本に書かれて

「お母さんは今日美容院へ行つたのよ。私はお布団へ寝かせる時、あんまり髪がいい匂いだから、いつもお母さんの行くコクリコ美容院へ電話してみたの。そしたら、やっぱり、お婆ちゃんなら、お屋敷に見えませんでした。よく美容院に行つてたけど、こんな雪の降る日に、洗つてドライヤーで乾かして、つまりさんご温めて外へ出れば雪でしよう？　温度が遠いすぎて悪かつたのかも知れないね。でもセットが終つたのは二時過ぎです。よ、昭子は、敏が指したのと同じ

# ポスト・デ・ガンリナ

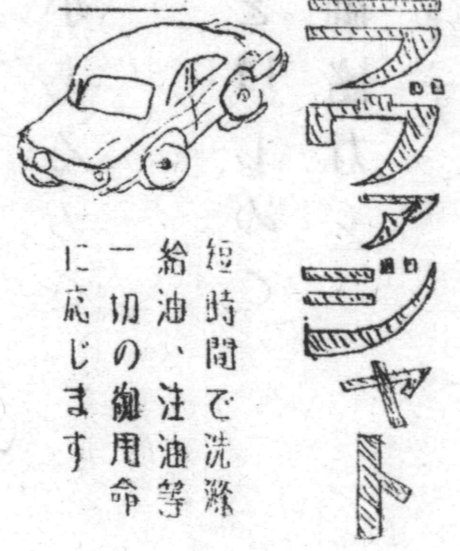
超速自動車洗滌

僅か三分でああなたの自動車  
がピカピカになります

トロッカ オーレオ  
エングラッシャ

## LAVA JATO SESQUICENTENÁRIO PETROBRAS

Fone 371



短時間で洗滌  
給油、注油等  
一切の御用命  
に応じます

ドッキデカシマス街  
演舞場のとたり

### セキスセンテナリオ

電話三七一

「お母さんは今日美容院へ行つたのよ。私はお布団へ寝かせる時、あんまり髪がいい匂いだから、いつもお母さんの行くコクリコ美容院へ電話してみたの。そしたら、やっぱり、お婆ちゃんなら、お屋敷に見えませんでした。よく美容院に行つてたけど、こんな雪の降る日に、洗つてドライヤーで乾かして、つまりさんご温めて外へ出れば雪でしよう？　温度が遠いすぎて悪かつたのかも知れないね。でもセットが終つたのは二時過ぎです。よ、昭子は、敏が指したのと同じ

筆者(有吉佐和子)

# 野球練習試合

五月六日 ベンセスラウ球場に於て

殺黒岩投ゴロ能見三振で試合終了。  
 一二三四五六七計  
 ベンセスラウ 20002004  
 バストス 00200002

バストス準青年及び少年チーム、ベンセスラウへ遠征、最初に少年チームより始め、成績は左の通り、一回ベンセスラウ先攻、バ軍投手岡田初球よりボール連続一、二番打者歩かせ、三番三振四番進べ飛で二死五番伯人アベゴンに中前ライナ中堅手山本の前でパウソンド頭上越、二塁打に二走者生還六番遊ス飛ベンセスラウ先攻二点、一回バストス三者凡退、三回両軍とも三三凡退、三回ベンセスラウ三者凡退、バストス黒岩三ゴロ悪送球に二進能見四球岡田の送りバントで走者前進、浅川の右翼ゴロ黒岩のホームイン友谷中前安打能見ホームイン小野投ゴロでこの回二点入れ同点となる。

ベンセスラウ  
 安打2四死球5三振3残塁0  
 井田 山中 山浦 江原 尾  
 伊吉 北田 阿部 松堀 吉平  
 8 3 6 1 7 2 5 4 9

四回 両軍三者凡退  
 五回 ベンセスラウ一死後九番平尾四球次井左越三塁打に平尾生還吉田投前二回両軍とも三者凡退  
 六回 ベンセスラウ三者凡退バストス友谷三ゴロ小野遊撃内野安打、石川右飛に併殺

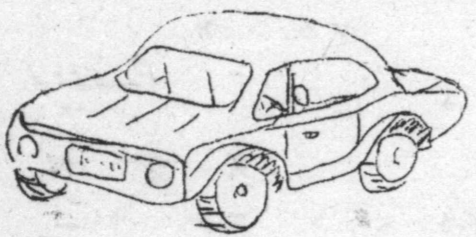
バストス  
 安2四死球3三振3松越  
 残塁4失0  
 田川 谷野 川谷 本岩 見  
 岡浅 友小 石古 山黒 能  
 1 7 2 6 5 9 8 3 4

## 準青年バストス先攻

一回 友谷遊ゴロ失で出塁能見投ゴロ併殺田川右飛、ベ吉野四球前村中飛稲富中前安打吉原左飛田中左前安打、満塁に打岡田投ゴロ三者残塁  
 二回 両軍とも三者凡退  
 三回 バストス友谷ジョル右安打、日浦遊ゴロ失に生き黒岩の一ゴロに走者進塁友谷トミオ遊越安打友谷ジョ生還日浦能見の送りバントに生還田川直飛、二点入る。

ベンセスラウ二ゴロ三振四球遊ゴ  
 四回 バストス三者凡退  
 ベンセスラウ一死後湯井三ゴロ一塁悪送球に二進後二ゴロ中飛で残塁  
 五回 バストス二死後黒岩死球で出塁友谷中飛で残塁ベンセスラウ前村遊飛稲富三ゴロ失に生き一塁牽制失に三進吉原右飛田中中飛で残塁  
 六回 両軍共三者凡退  
 七回 バストス三者凡退  
 ベンセスラウ二死後前村四球稲富左前安打吉原投ゴロ得点ならず  
 八回 バストス三者凡退、ベンセスラウ捕捕那飛岡田中前安打、湯井のバント投飛となり二死堀江左前安打岡田三進堀江二盗大倉四球で満塁吉野へ一、二、三球目暴投に岡田ホームイン走者進塁吉野左飛二点止る  
 九回 バストス二死後戸来遊失に生きるも佐藤三ゴロで残塁  
 ベンセスラウ二死後吉原四球で出塁田中の三直飛で終る。

MARVEL MARCA VEICULOS LTDA CHEVROLET



毎週水曜日にパール  
 柳浦に出張いたし  
 ます。御相談下さい  
 瀬戸清

最新型  
 カミニオネット  
 カミニオオン

が登場いたしました  
 何卒御愛用ください  
 あかたの車とトロッカ  
 してさし上げます。

ベンセスラウ二ゴロ三振四球遊ゴ  
 四回 バストス三者凡退  
 ベンセスラウ一死後湯井三ゴロ一塁悪送球に二進後二ゴロ中飛で残塁  
 五回 バストス二死後黒岩死球で出塁友谷中飛で残塁ベンセスラウ前村遊飛稲富三ゴロ失に生き一塁牽制失に三進吉原右飛田中中飛で残塁  
 六回 両軍共三者凡退  
 七回 バストス三者凡退  
 ベンセスラウ二死後前村四球稲富左前安打吉原投ゴロ得点ならず  
 八回 バストス三者凡退、ベンセスラウ捕捕那飛岡田中前安打、湯井のバント投飛となり二死堀江左前安打岡田三進堀江二盗大倉四球で満塁吉野へ一、二、三球目暴投に岡田ホームイン走者進塁吉野左飛二点止る  
 九回 バストス二死後戸来遊失に生きるも佐藤三ゴロで残塁  
 ベンセスラウ二死後吉原四球で出塁田中の三直飛で終る。







Schweis de Cine Santos

五月十三日(日)九時半 十四日(月)八時  
**黄金の野郎ども** 石原裕次郎 穴戸錠 貞理明美  
 二谷英明 広瀬みき 名和宏  
 うなるドスン拳銃三丁これか本格的やくざの興奮この熱狂ににくい奴、かっこいい奴、

五月十五日(火) 十六日(水) 両夜とも八時  
**非牡博徒** 藤純子 菅原文太  
 若山富三郎 鶴田浩二  
 町田京介 村井周夫

五月十八日(金) 八時 十九日(土) 九時半  
**今アピン** 見崎清志 戸部夕子  
 江夏夕子 睦五郎  
 笠井純子 笠井純子

五月二十日(日) 九時半 二十一日(月) 八時  
**流れ者** 鶴田浩二 北村早苗  
 藤純子 三澤敏  
 町田京介 若山富三郎

五月二十二日(火) 二十三日(水) 両夜とも八時  
**大奥絵巻** 佐久間良子 大原麗子 野添ひとみ  
 淡島千景 宮園純子 田村高広  
 水暮実千代 桜町弘子 三益愛子

五月二十五日(金) 八時 二十六日(土) 九時半  
**あ声なき友** 渥美清 江原真二郎  
 新克利 大瀬秀次  
 荒木道子 吉田日出子

三振田川三三安打走者二三塁三浦二清龍んでおり、脚は短かく、すねが細い。か  
 で試合終了

オエ ステ 〇〇〇〇 17004 12  
 バウリス タ 1210032 10  
 オエ ステ 打数 34 安打 8 三振 10 四死球 14  
 球 1 失策 4  
 オ バウリス タ 打数 43 安打 13 三 4  
 球 4 失 1 失 4

アルドフ・ピトラ

ドイツの国民のもうろろ知識が報道機も清潔というわけにはいかず、口を開け  
 閑の統制のためにきわめて眼を刺さる。虫歯が歯の歯並みで、しか  
 幸実を、まず念頭におかれはならぬ。も手の指の爪が伸びておれ、とあつ  
 ビトラをこの目で見たと、というドイツでは、むしろ外見はグロテスクな男とい  
 人は何千人といるが、そういう人たろはう感じだった。  
 ・その印象をもとに概念をつくり上げて  
 しまうだろう。  
**親衛隊員にもなれない貧弱な体**  
 当時の彼はあごひげを伸ばして、先きを  
 とがらせ、濃い茶色の髪を真中から分け  
 く、油でべったりと左右になでつけてい  
 た。その歩きぶりはとても軍人のもので

身体の外見的特徴からいうと、ピトラはなかつた。  
 は特に押出しがよいというタイプではな、女みたいなき歩き方だつた。気ど、こ、  
 い・偉大な、闘争的指導者、ドイツの解ちよこまかと歩いた。二三歩ごと、  
 放者、新しい国家の創造者、といった理想に右の肩をつり上げた。そのたりに左  
 想像では決してない。身長はやや平均を定がみさつた。といわれる。  
 下まわるし、尻は常に張っている。肩  
 はどちらかというところ、筋肉はむら